

シラバス

科目名	刑事司法と福祉		
担当教員	野崎和義		
配当年次	3年次	開講時期	2学期
単位区分	選択	単位区分補足	
授業形態	講義	単位数	2単位
準備事項			
備考			

【授業のねらい】

- ①刑事司法の近年の動向と制度の仕組みを理解する。
- ②刑事司法における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割について理解する。
- ③刑事司法の制度に関わる関係機関等の役割について理解する。

【授業の展開計画】

1. 高齢または障害のある再犯者等に関する近年の動向、再犯防止推進法等の概要
2. 刑罰目的と責任非難、刑事手続きの仕組み
3. 特別講義（熊本刑務所矯正処遇官、福祉専門官）：刑事施設内での処遇
4. 少年非行と法（1）：少年法の対象、少年保護手続き、少年法と児童福祉法、（4）捜査と調査
5. 少年非行と法（2）：犯罪少年・触法少年・虞犯少年の取扱い、家裁における調査、少年審判
6. 更生保護の意義、社会福祉と更生保護、保護観察の意義、保護観察の実施機関
7. 被收容者の生活環境の調整、更生保護施設への委託、特別調整
8. 更生緊急保護：意義、対象者、要件、機関、保護措置の内容と方法、実施の手続き
9. 特別講義（熊本保護観察所保護観察官）：保護観察の目的・対象・方法、運用状況
10. 医療観察制度（1）：触法精神障害者の処遇、審判手続き
11. 医療観察制度（2）：保護観察所の役割、強制医療の法的性格
12. 特別講義（熊本保護観察所社会復帰調整官）：触法精神障害者の社会復帰
13. 更生保護における被害者等施策：犯罪被害者基本法、被害者担当官・保護司、法テラス
14. 特別講義（熊本県地域生活支援センター）：刑事司法と福祉との連携、地域福祉への架橋
15. 刑事司法領域における社会福祉士・精神保健福祉士の役割

【履修上の注意事項】

- ①準備学習：各回のテーマに即して教科書を読みこんでおくこと。
- ②事後学習：指定された演習問題あるいはレポート課題に取り組むこと（各回120分）。
- ③講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
- ④特別講師の講義日は、変更になることがある。

【評価方法】

定期試験（100％）の成績によって評価する。

【テキスト】

野崎和義著『更生保護と刑事法』2016年、ミネルヴァ書房。
野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房（過年度版でも可）。

【参考文献】

野崎和義ほか著『刑法総論』1998年、ミネルヴァ書房。
野崎和義ほか著『刑法各論』2006年、ミネルヴァ書房。